

年 組 ( 番 ) 名前

記入日 月 日



カバは本来、アフリカ大陸の一部にしかない。しかし現在、コロンビア北西部を流れるマグダレナ川には、80頭ほどが生息しているという。

始まりは、1980年代にこの男が川沿いの街に、自分で動物園を作ったことだった。雑誌のランキングに登場するほどの金持ちだった男は、動物園で勝手に輸入した動物を飼育していた。その中に、アメリカの

南米コロンビアで、外来種のカバが増えていく。ある男が輸入した4頭が野生化したのがきっかけだ。生態系への影響などを心配する学者らが駆除すべきと指摘し、議論になっている。

# 私設動物園から野生化 カバ増える

## 4頭▶▶80頭 駆除？ 観光資源？ 議論に

動物園から取り寄せたオス1頭、メス3頭のカバがいた。93年12月に男が亡くなると、残された動物たちは他の動物園に移されることになった。だが、運ぶのに費用がかかるなどの理由で4頭のカバは放置された。周辺にカバをおそうような動物はおらず、自由の身となったカバは、その数を増や



野生のカバ（アフリカ・ケニアで）

1 カバは本来どこにいる生き物ですか。適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① アフリカ大陸の一部
- ② 南米のコロンビア
- ③ 川沿いの街ならどこにでもいる
- ④ 動物園にしかない

2 カバはなぜ増えているのでしょうか。最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 米国の動物園からたくさんのカバを輸入したから。
- ② 周辺にカバをおそうような動物がいないから。
- ③ カバは他の動物よりも寿命が長いから。
- ④ アフリカよりもコロンビアの方がカバのエサがたくさんあるから。
- ⑤ カバは一度にたくさんの子どもを産むから。

3 次の考え方は、(ア) 学者、(イ) 川沿いの土産店の人々、(ウ) 動物愛護団体のメンバーのどれに近いですか。( ) にア、イ、ウのいずれかを入れましょう。

- ( ) カバがいなくなると困る。
- ( ) カバを殺さないですむ方法を考えるべきだ。
- ( ) カバを殺す以外に解決方法はない。

していった。

このまいくと、カバは2034年頃に1400頭前後にまで増えるという。マナティーなど元々この地に住んでいた動物を攻撃する上、漁業にも影響が出る。人のおそわれるケースもある。学者らは「ただひとつの方法は、かなりの数を殺してしまうことだ」としている。

一方で、カバの駆除には、反対意見も出ている。川沿いに住む女性性は「カ

バは私たちの暮らし、生活の一部だ」と訴えている。周辺にはカバのグッズを並べる土産店もあり、カバは欠かせない観光資源のようだ。

国際的な動物愛護団体は、「もっと思いやりのある、別の方法がある」と、カバが子どもを産めないようにすること

※駆除…追い払ったり、殺したりしてとりのぞくこと

※外来種…人間などによって持ち込まれた、元々その地域にいなかった生物

うにするなどして数を増やさない方法もあるはずだとしている。

(2021年2月23日 読売新聞朝刊より)